

次世代へつなぐ地域づくりの 課題と展望

誰もが住みやすい、住んで良かったと思える地域にしていくには、次世代地域づくり人材の育成や多様な地域の多様な主体が連携・協力して、地域の課題解決等に取り組んでいくための地域コミュニティの再生・創出が求められます。

第11回ひらつか地域づくり市民大学は、平塚市市制100周年を見据えた“共創型まちづくり”に向けて地域づくりフォーラムを開催します。

日時

12月17日(日) 13:30~16:00

会場

ひらつか市民活動センター(平塚市見附町1-8)

対象者

市内在住・在勤・在学の方、市内で活動する団体の方、地域づくりに関心のある方

参加費

無料/定員 50名(抽選)

第1部 基調講演

次世代へつなぐ地域づくり

2019年「自治会レボリューション」と銘打った独自のタウンマネジメントを開始したBrillia City横浜磯子自治会。自治会員や役員が“なにかをしなければならぬ”という仕組みがあると、それだけで住人は負担に感じてしまう。「街に貢献する心地良さを提供して、住民の街への愛着を育てる」これを何より大切にしていると語る田形会長。当日は自治会役員となって活躍する中学生の鈴木梨里子さんも登壇します。

講師

田形 勇輔 さん (Brillia City横浜磯子自治会 会長)

鈴木 梨里子 さん (中学3年生 Brillia City横浜磯子自治会 役員)



第2部 パネルディスカッション

誰もが関わりたくなる・参加したくなる地域活動とは

パネリスト

宇佐美 陽子 さん (市民活動団体「ママぎゅっと」代表)

森田 鉄平 さん (高校生団体トンガリーズ顧問)

野中 一宗 さん (横内こどもサポートネットワーク協議会 会長)

丸島 隆雄 さん (平塚市地域教育力ネットワーク協議会 会長)

ゲスト

田形 勇輔 さん・鈴木 梨里子 さん (Brillia City横浜磯子自治会)

コーディネーター

梶田 佳孝 さん (東海大学建築都市学部教授)

第11回 ひらつか地域づくり市民大学 参加申込書

申込月日(月 日)

フリガナ		年代
氏名		<input type="checkbox"/> 20代以下 <input type="checkbox"/> 30代 <input type="checkbox"/> 40代 <input type="checkbox"/> 50代 <input type="checkbox"/> 60代 <input type="checkbox"/> 70代以上
住所	(〒 -)	
電話番号		
メールアドレス		
団体名	現在活動中の自治会名、団体名、グループ名などがありましたらご記入ください。	
職業	<input type="checkbox"/> 会社員 <input type="checkbox"/> 公務員 <input type="checkbox"/> 団体職員 <input type="checkbox"/> 自営業 <input type="checkbox"/> パート・アルバイト <input type="checkbox"/> 学生 <input type="checkbox"/> その他()	
参加の動機	参加の動機や地域でのお困り事などありましたら、お気軽にお書きください。	

※ご記入いただいた個人情報については、「講座案内及び運営に関する連絡、ひらつか地域づくり市民大学で行う活動調査」以外には利用いたしません。

※当日は、報道機関の取材が入る場合があります。

また、講座の様子を写真等に記録して、紙面やホームページ上に掲載させていただく場合がありますので、あらかじめご了承ください。

申込方法 上記の参加申込書に必須項目をご記入の上、市内各公民館へご提出ください。
またはFAX・メールにて中央公民館にお送りください。
尚、参加が決定された方には参加決定通知書をお送りします。

締め切り **12月1日(金) 17:00まで**

お問合せ 平塚市中央公民館 〒254-0047 平塚市追分1番20号
電話 0463-34-2111(ダイヤルイン)
休館日/11月27日(月)

FAX 0463-35-2537

E-mail chuo-k@city.hiratsuka.kanagawa.jp

ひらつか地域づくり市民大学の目的と理念

地域の様々な団体や個人をつなぎ、地域課題などに住民自らが取り組み、住みよい地域づくりを進めていくための人材の育成や地域活動に携わる人材のすそ野を広げ、協働社会の基礎をつくります。

1. 自らの学びの成果を地域の中で活かす「協働の担い手」を育てる
2. 地域住民や市民団体が相互に連携・協力して「協働の輪」を拡げる
3. 地域の課題解決に向け、住民が知恵と力を出し合って取り組む「協働のまちづくりの基礎」をつくる